

各種報告

JR連合静岡県協 第27回定期委員会 &セミナー開催

9月15日(土)、静岡市葵区クーパーホール会館に、おいて「JR連合静岡県協第27回定期委員会&セミナー開催」が開催され、貨物鉄産労から中部分会阿部さん、西部分会から和田さんの2名が参加しました。14時00分現在において、代議員数と常任委員会、定数のいずれも満たしていることを確認し、第27回定期委員会が成立していることが厳粛に中園副議長より宣言されました。議長の選出にあたり東海ユニオンの日高代議員を選出し引き受けていただきました。

日高議長より議事次第に則り、半田議長のおいさつ、来賓で来ていただいた、JR連合国会議員懇談会会長榛葉賀津也様、静岡県議会議員佐野愛子様、JR連合東海地協尾内様より挨拶を承ったあと、スローガンの提起、2017年度活動経過報告、2017年度決算報告が執行委員会より、会計監査報告は会計監査員よりそれぞれ報告がありました。その後、2018年度活動方針(案)・2017年度剰余金の処分(案)・2018年度予算(案)について執行部より発言があり、満場一致で可決されました。最後は和田副議長の閉会のあいさつ、半田議長の「団結ガンバロー」で締めくくりました。



定期委員会終了後、西労組中央本部の羽野さんを講師に迎えて、福知山線事故のセミナーが行われました。事故発生前日から当日、その後から今にいたるまでの実体験を交えながらの内容は、自分達の想像を遥かに超える壮絶な状況でした。会社やご遺族、組合員にマスコミ、そして西労の各々の想いや思惑が複雑に絡む中、事実を解明するため、安全確保のために費やした労力や時間は、計り知れませんでした。13年の月日が経ちましたが、この事故で感じた命の大切さ、安全に対する躊躇なき行動は風化させてはいけません。

セミナー終了後、懇親会が開催され1日の出来事を参加者全員で振り返りました。参加していただいた方々ありがとうございました。

第34回九州地区本部 定期大会開催

8月26日(日) 15時より、北九州市・国際会議場において九州地区本部第34回定期大会が開催されました。今回は、大会前段として、13時より辻村中央本部書記長を講師に組織強化学習会を、14時より福田全交運共済九州事業本部長を迎え、共済学習会をそれぞれ開催し、それらを受けての開催となりました。

開会挨拶後、議長に北九州支部山崎代議員を選出し、ご親族の不幸により、急きよ欠席された田代委員長に代わり、地区本部を代表して挨拶に立った山崎副委員長は、「西日本豪雨での貨物会社の被害状況について、JR西日本が早期復旧に向け努力してくれているが、問題は災害前JR貨物を利用していた荷主が、どれだけ戻ってくるかだ。ほかの通運会社に荷物を委託した場合、半年から1年間の長期契約のため、荷物が戻らば10月中となっていないが、開通しても荷物が戻らない場合は、損失が上乗せされる可能性がある。会社は経費節減などできるだけカバーしたい方針だろう」と政治については「貨物鉄産労の掲げる方針、政策に賛同する政治家と協力・協調関係を重視する。政党については平和、憲法を守る党を支持する」と組織については「JR東労組で大きな動きが出たが、その流れを貨物会社に呼び込む為、JR連合と共に民主化運動を取り組もう」とな

続いて来賓として駆け付けていただいた、JR連合九州地協中原議長(JR九州労組委員長)、九州ロジスティクス労組木村委員長、全国交運共済九州事業本部福田事業本部長の方々から、激励と連帯のあいさつをいただきました。

本部辻村書記長からは、会社の情勢、西日本豪雨の影響など話され、安全最優先と貨物民主化達成について、檄を飛ばされました。

議事では、原書記長より主な活動の経過、新年度方針案・予算案までが一括提起され、その後質疑が行われ、執行部の集約答弁後、新年度方針案が満場一致で採択され、役員改選では、執行委員に石田雅人氏が新たに選出されました。最後に山崎副委員長の「団結ガンバロー」で閉会し、親睦会では、来賓の方も交え楽しく意見交換を行いました。



山崎副委員長



九州ロジスティクス労組
木村委員長



九州事業本部
福田事業本部長



中原議長

お知らせ
10月10日(水)

12:30
第1回代表者会議

15:30
第9回JR貨物連合大会

18:15
JR連合民主化決起集会